

## 東京 IPO 特別コラム

---

2017年5月29日 Vol.81

### 6月のIPO銘柄は6銘柄

5月はお休み状態だったIPO市場ですが、6月は6銘柄が発表されており、皆様も既に吟味されていることと拝察致しております。昨年に比べれば銘柄数は減少していますが、なかなか面白そうな銘柄が登場して参ります。6月15日のビーブレイクシステムズ(3986・マザーズ)から6月30日のツナグ・ソリューションズ(6551・マザーズ)までの6銘柄ですが、6銘柄のうちIT系に分類されそうなのが4銘柄でサービス系が2銘柄となっています。1-4月のIPO銘柄もその多くはITに絡んだビジネスを行っていますが6月もそうした流れに沿ったIPOが多くなっています。

先週開催された3月IPO銘柄、うるる(3979)の決算説明会はほぼ満席となるなど関心の高さが伺えました。同社はどちらかと言うとIT活用人材サービスの企業という印象ですが、業績の向上が顕著になってきています。IPO後は穏健な値動きが見られましたが、このところは人気化しており、投資家やアナリストの指向がこうしたIPO銘柄に向かっていると感じられます。

6月15日に登場するビーブレイクシステムズは主にクラウドERP(MA-EYES)の開発および販売を行うパッケージ事業と、顧客が構築するシステムの受託開発やIT人材の派遣を行うシステムインテグレーション事業を展開。SAPで経験を積んだ現社長が年商規模11億円、経常利益1億円余りでIPOすることとなりました。上場時の資金吸収は5億円余りで比較的軽い値動きが予想されます。

6月20日にIPOするのがセプテーニで経験を積んだ現社長が創業したディーエムソリューションズ(6549・JASDAQ)。同社はダイレクトメール及び宅配便の発送をワンストップで行う発送代行事業、コンテンツマーケティングやSEOコンサルティングサービス及び自社メディアサイトの運営等によるインターネット広告事業を展開。公開価格などは未定ですが、類似企業としては地味な印象のあるウィルコホールディングス(7831)が想定されJASDAQ上場銘柄でもあり初値の人気は今回の6銘柄の中では最も薄い可能性があります。

IoTインテグレーション事業(IoTソリューションの企画及びこれに付随する端末製造、通信インフラ、アプリケーション開発並びにクラウドサービスの運用・保守に関する業務)を展開するのが6月21日に札幌アンビシャス市場にIPOするエコモット(3987)です。ビジネスの内容からは最も人気を集めそうですが、残念ながらアンビシャス市場の銘柄で上場後はやや人気離散の恐れがあります。ただ、主幹事岡三証券では上場前説明会に注力したもようで、意外な展開も期待されます。

野村証券が主幹事となっているFringe81(6550・マザーズ)はインターネット広告配信プラットフォーム(アドネットワーク)等のサービス開発から広告主のマーケティング支援サービスの提供、ならびにHRテック領域等におけるウェブサービスの提供等を行う企業。5年前に設立された若い企業で前期までは赤字続きでしたが今期か

## 東京 IPO 特別コラム

---

らは黒字に転換する計画。情報不足の中で 6 月 27 日の IPO 時にどこまで人気を高めるかは未知数ながら利益よりも売上増が先行している点に注目。ソフトバンクやネットイヤーグループなどで経験を積んだ 41 歳の社長の手腕にも期待が寄せられます。

6 月 30 日には SYSホールディングス (3988・JQ) とツナグ・ソリューションズ (6551・マザーズ) の 2 社が上場して参ります。SYSはITシステム開発(グローバル製造業、社会情報インフラ、モバイル)及びITソリューション・サービスの提供を中核とする総合情報サービス事業を展開しており、上場時の人気化が予想されます。また、ツナグはリクルート系の企業出身の経営者が 2007 年に独立して設立。アルバイト・パートを中心とした採用コンサルティング、採用活動支援サービス、求人情報メディアの企画・運営等を展開しており中間期までの事業進捗率の高さもあってこれも人気化が予想されます。

再び始まる 6 月の IPO 市場にホットな投資家心理とマネーを呼び込むにふさわしい IPO 企業群に皆さんも大いにご関心をお寄せ頂くと幸いです。

(東京 IPO コラムニスト 松尾範久)